

事業名	市町村行政推進費		
細事業名	市町村長・市町村議会会議開催費	財務コード	113802
担当部課室	総務 部	市町村 課	行政選挙 担当 (内線) 2462

調査番号	16
------	----

事業の概要

実施期間	始期 S43 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県内全市町村長及び市町村議会議長	その対象をどのような状態にして 県と市町村の相互理解が深まっている	結果、何に結びつけるのか 県及び市町村行政の円滑な推進
	内容 知事以下県幹部職員並びに市町村長及び市町村議会議長が一堂に会して ・知事による主要施策や重要案件の説明 ・県幹部職員による主要施策や市町村と連携を要する重要案件の説明 ・市町村長及び市町村議会議長と知事以下県幹部職員との意見交換		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	開催回数	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		552	551	562	576	612	593	618

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価 当初計画どおり実施しており、予定どおりの活動量があった。 市町村長及び市町村議会議長と知事以下県幹部職員が一堂に会している場において、県・市町村に関する重要課題を県幹部職員が説明することで、各首長等と県・市町村との連携の重要性・必要性を共有することができている。また、意見交換の場を設けることで、さらに相互理解が深まっている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
	説明	
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県と市町村が抱えている行政課題は、県や市町村が単独で解決できるものではなく、県と市町村双方の連携が不可欠なものであり、一方通行とならずに相互で共有し、さらに相互理解が深まっており、成果向上が可能である。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他()
	説明	
その他	説明	年度初めにおいて、市町村と連携を図る必要がある主要施策等について、市町村長等の理解を得るとともに、県の施策への協力を依頼する場である。また、開催にあたっては、簡略・簡素な事務手続をとるとともに、経費も必要最小限度とし、可能な限り抑制していることから、見直す余地がない。
見直しの必要性	無	市町村長及び市町村議会議長と知事以下県幹部職員が一堂に会している場において、県・市町村に関する重要課題について、県と市町村の連携の重要性・必要性を共有することができている。また、意見交換の場を設けることで、さらに相互理解が深まっている。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。